

新しい日本、平和な日本へ(全) このワークシートは毎時間の振り返りで使います。 名前()

学習問題

学習問題Ⅰ「終戦から20年、日本はどのようにして発展したのだろうか。」

※学習問題は、児童の疑問を基に児童と共につくるため、必ずしも同文にしようとせず、同意になるようにします。

時	今日の学習の振り返り(学習問題は解決できたかな)
①	学習問題Ⅰ「終戦から20年、日本はどのようにして発展したのだろうか。」についての予想を記述させます。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本①」の学習活動4を参照
②	「日本の戦後改革を「政治」の視点から調べよう。」について、調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、学習問題Ⅰに対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして記述させます。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本②」の学習活動5を参照
③	「日本の戦後改革を「国際関係」の視点から調べよう。」について、調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、学習問題Ⅰに対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして記述させます。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本③」の学習活動5を参照
④	「日本の戦後改革を「国民生活」の視点から調べよう。」について、調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、学習問題Ⅰに対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして記述させます。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本④」の学習活動4を参照
⑤	学習問題Ⅰ「終戦から20年、日本はどのようにして発展したのだろうか。」についての答えを「政治」「国際関係」「国民生活」「環境問題」の視点を使って、総合的にまとめさせ記述させます。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本⑤⑥」の学習活動4を参照
⑥	学習問題Ⅱ「これからの日本はどのような国を目指していけばよいだろう」について、日本が直面する課題の中から選択させ、自分の考えやもっと調べたこと、その方法などを記述させます。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本⑥⑦」の学習活動5を参照
⑦	学習問題Ⅱ「これからの日本はどのような国を目指していけばよいだろう」について、日本が直面する課題の中から選択させ、意見交流を通して考えたことを記述させます。その際、これまでの学習を振り返り、学んだことを使って書くように指導して下さい。 ※詳細は、ワークシート(指導の手引き)「新しい日本、平和な日本⑦」の学習活動4を参照

新しい日本、平和な日本へ①

名前()

学習活動 1

新しい単元に入ることを伝え、今日の学習のめあてを確認します。

④ 学習問題をつくり、学習の見通しをたてよう。

終戦

※この年表は、学習活動 3 で予想を記述させます。詳細は次頁。

現在



●疑問に思ったこと・もっと調べたいこと

※学習活動 3 で記述させます。詳細は次頁。

学習問題

終戦から 20 年、日本はどのようにして発展したのだろう。

※学習問題は児童の疑問をもとに共につくるため、必ずしも同文にしようとせず、同意になるようにします。
学習活動 3 でつくります。

学習活動 1

前単元のまとめを数名の児童に発表させ、時代のつながりを感じさせて、今日の学習のめあてを示します。その後、終戦直後の日本各地の写真を基に、終戦直後の様子を視覚的に確認します。

1945年の終戦直後の写真を数枚見せることを告げ、クイズ形式で写真の場所はどこかを問いかけます。併せて日本地図で場所を確認することで、終戦時に日本全国が空襲等で被害を受け、ほとんどのものがなくなっていたことを確認します。

写真は子供にとって気付きやすいものから見せていき、建物や土地の様子などから気付かせていきます。

《写真の例》

①広島：原爆ドーム………原子爆弾が落とされた都市として学習していることから児童が気付きやすいが、そのことを称賛するとともに、原爆ドームの周りの様子にも目を向けさせ、家がないことに気付かせておくとの学習活動につながります。

②長崎：城山小学校………修学旅行で見学していた場所であれば児童が気付きやすい。児童の実態によって気付きやすい写真を用意します。①と同様に周りの様子にも目を向けさせます。

③東京：銀座付近………教科書や資料集に掲載されている写真を見せるとよいと思います。当時も首都であったことから、「どれぐらいの人に影響があったのだろうか」などと予想をさせておくことで、学習活動 2 への布石をつくっておきます。

④⑤全国のその他の都市…これからは、児童からの正解を望まず、教師が場所を言い、児童と共に場所を地図で確かめながら進めます。最後に、児童に身近な都市（学校に近い都市など）を示すと、さらに児童の学習意欲がまします。

※すべてを示してから、考える発問「この○つの写真に共通していることは何だろう。」と問いかけます。これにより、終戦時、全国で家や田畑がなくなっており、町が焼け野が原になっていたことに気付かせ、これから学習する時代の始まりを確認し、学習活動 2 へ移ります。

資料

学習活動2

終戦当時の人々の思いや願いを考えさせるために、当時の写真に吹き出しを書かせる手立てを取ります。

「もう1枚、当時の写真を見せます。前の○枚の写真とどこが違いますか。」と問い掛けながら、終戦当時の人々の思いや願いを予想させる手掛かりとして、終戦当時の人物が写る写真を1枚提示します。

人々が写っていることに気付かせ、人物に吹き出しを付けることで、当時の人々の思いや願いを予想させます。その際、吹き出し型の付箋に書かせることで、書くことへの抵抗感を減らし、予想しやすくします。

《1枚の写真の例と発問例》

○買い出し列車：列車の車両に乗ろうと群がる人々や屋根によじ登る人、大きなリュックや風呂敷をもつ人などが写っている写真

発問①「どこが違っていませんか。」…児童の反応①「人が写っています。」「列車が写っています。」

発問②「どんな人ですか。」…児童の反応②「列車の屋根によじ登っている人がいます。」

発問③「この写真は、当時の新聞写真に『買い出し列車』という題で載っていたものです。現在はそういうことをする人はいませんが、なぜ、登っているのかな？」…児童の反応③「物を買うために、物がある町へ何とかして行きたいからじゃないかな。」

発問④『何とかして』ってどういうことなの？もう少し説明してくれる？」…児童の反応④「たぶん、生きていくためには、どうしても列車に乗らないといけなかったのではないのかな。修学旅行で語り部さんが、食べ物もなかったっておっしゃっていたから。」

発問⑤「では、この人はどんな思いや願いをもっていたのかな？」…児童の反応⑤「食べ物が欲しい。」「お腹いっぱい食べたい。」「家族のために何とかしなくては。」→吹き出しを付ける。など

※1枚の写真から分かること、考えられる（予想される）ことを書く学習を例にして、数枚の写真に吹き出しを付けさせます。

《児童に示す写真の例と気付かせたい当時の人々の思いや願い》

○買い出し列車…「食べ物が欲しい。」「お腹いっぱい食べたい。」「家族のために何とかして手に入れたい。」など

○バラック小屋…「住む家が欲しい。」「ちゃんとした家に住みたい。」など

○ヤミ市……………「少し高くても物を買いたい。」「生きていくためには、何とかして手に入れたい。」など

○青空教室……………「きちんとした建物で勉強したい。」「やっと勉強できる。」など

※戦争が終わって安心した気持ちや生活をよくしたいという思いや願いに迫らせます。

燃住

学習活動3

当時の国民の思いや願いが、戦後何年で達成できたかを以下の手順で予想させます。

①学習活動2で挙げた思いや願いを、現在の児童の生活に当てはめることで、現在は叶っていることを確認します。

②「東海道新幹線開通」の写真を見せ、新幹線だけではなく、高速道路やそこを走る自動車、ビルやマンションなどが写っていることに気付かせることで、現在の町の様子に近いことを確認します。

③発問「この写真はいつの写真だと思いますか。」と問い掛け、下の年表を基に予想させます。



④現在から遡りながら、クイズ形式で予想したところに手を挙げさせます。

※終戦から始めることも考えられるが、正解を知っている児童がいることが予想されるため、どちらにしても「どうしてそう思ったの?」「○年前（後）だよ。」「先生が生まれた頃だけど、いいの?」など児童の判断を揺さぶる問い返しを行いながら予想させます。

⑤正解の1965年を伝えることで、戦後約20年での復興・発展ができたという事実から、児童の驚きや疑問などをワークシートの「●疑問に思ったこと、もっと調べたいこと」に記述させ、つないでいき、学習問題Ⅰをつくります。

《学習問題Ⅰの例》「戦後、たった20年で、どのようにして日本が発展できたのだろう。」など

学習活動4【評価】思考・表現・判断

前単元で「調べる」過程の視点にしていた「政治」「国民生活」「国際関係」を基に、学習問題Ⅰに対する予想を考えさせ、本時の振り返りとして別紙のワークシート「新しい日本、平和な日本(全)」に記述させます。この際、児童の実態に応じて、書き出しを例示したり視点をキーワードにして示したりするなど記述方法の指導を加えます。

《学習問題Ⅰの例》

「政治」…日本の政治が、「国民生活」…国民が、「国際関係」…日本と外国が、など書き出しを示して記述させる。など

新しい日本、平和な日本へ②

名前()

⑥ 日本の戦後改革を「政治」の視点から調べよう。

学習活動 1

学習問題 I と「調べる」活動の視点を確認した上で今日の学習のめあてを確認します。

学習活動 2

マッカーサーの写真を手掛かりに、教科書や資料集を使って右の()に入る言葉を探させます。その際、連合国や降伏、占領、GHQ、改革などの言葉が児童にとって難しいことが考えられるので、自分の言葉に直して言い直させると理解が深まると思います。

日本は連合国に降伏し、(GHQ)により占領された。日本の政府は(GHQ)の指導により、改革を行った。

○新しい憲法はどんな憲法だろう？

学習活動 3

GHQによる政治改革の例として、日本国憲法を取り上げます。右の図を基に、大日本帝国憲法との違いを調べさせます。その際、人々のどんな思いが反映されたかを問いかけます。発問「日本国憲法になって、どこが変わりましたか。」

「なぜ、国民に変わったのかな。」

「これによって国民にどんなよいことがあるのかな。」

《押さえておきたいこと》

- ・国のことを国民が決めるようになったこと（国民主権）
- ・戦争をしない国にすると決めたこと（戦争放棄）
- ・天皇は元首（国の長）ではなく、国民の象徴になったこと
- ・兵隊ではなく、働くことが国民の義務になったこと
- ・国民一人一人に権利があること（基本的人権の尊重）など

日本国憲法と大日本帝国憲法を以下の視点などで比較した表を貼ります。

《比較する視点》

- | | |
|--------|----------|
| ・公布日 | ・戦力 |
| ・つくった人 | ・国会の位置付け |
| ・主権 | ・内閣 |
| ・天皇の存在 | ・裁判の仕方 |
| ・国民の権利 | ・改正 |
| ・国民の義務 | など |

○そのほかにどんな改革を行ったのだろうか？

戦後改革

人々の思い

軍隊の解散

二度と戦争をしたくない。平和な日本にする。など

学習活動 4【評価】資料活用の技能

教科書や資料集を使って、どのような戦後改革がなされたのかを調べさせます。また、改革の意味について考えさせるために、改革が人々のどんな思いや願いを反映しているかを書かせます。これにより、軍隊の解散などの用語を調べるだけでなく、内容に目を向けさせることで、考え、理解するように指導します。

上記の例の他に、児童が調べると予想される戦後改革は以下の表が考えられます。これを基に板書に整理します。

戦後改革	人々の思い
労働者の権利を認める	誰でも自分がやりたい仕事をしたい。働きにあった給料がもらいたい。など
男女平等	女性も選挙権が欲しい。女性も政治に参加したい。性別による差別がないようにしたい。など
財閥の解体	誰もが自由に日本のために働きたい。財閥の言うとおりに政治がされないようにしたい。など
政党の復活	いろいろな考えを日本の政治に生かしたい。など
農地改革	農民の誰もが自分の作りたい作物をつくりたい。自分の田畑をもちたい。など
言論思想の自由	誰もが自分の言いたいことを自由に言えるようになりたい。など
教育制度が変わる	もっと勉強したい。誰もが学校で勉強できるようにしたい。など

児童にとって内容が難しいことが考えられます。自分の言葉（学級のみんが分かる言葉）で説明させたり、「どの資料から分かったの。」「どうしてそう考えたの。」などと問い返しなが、児童の調べたことを受けたり、他の児童の発言とつなげたりしながら表に整理していきます。最後に、「これらに共通することはどんな思いかな。」などと問い掛けることで、戦後改革の重点となる国民主権や平和主義、基本的人権の尊重に触れるようにします。これらは、3学期に学習するため、用語を押さえるのではなく、あくまで人々の思いとして整理します。また、「自由や権利」が認められたかわりに、国民は国の政治に「責任」をもつことになったことに触れることも考えられます。児童の実態に応じて、指導して下さい。

学習活動 5【評価】知識・理解

調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、学習問題 I に対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして別紙のワークシート「新しい日本、平和な日本(全)」に記述させます。キーワードとして、「政治」「民主主義」「国民が…」などを使わせたり、板書に整理した「人々の思い」をまとめさせて自分の言葉に直させたりして書かせる指導が考えられます。

新しい日本、平和な日本へ③

名前()

学習活動 1

学習問題 I と「調べる」活動の視点を確認した上で今日の学習のめあてを確認します。

① 日本の戦後改革を「国際関係」の視点から調べよう。

皇居前のアメリカ
陸軍の写真

←【皇居前のアメリカ
陸軍】
日本は連合国に占

→【道路標識】
占領軍はアメリカ式
の道路標識を打ち付

道路標識の写真
教科書や資料集など

学習活動 2

2枚の写真を手掛かりにさせ、アメリカに占領されていた当時の日本と現在の日本の様子を比べさせることで、外国（アメリカ）との関係に目を向けさせます。現在との違いに気付かせることで、現在のようにするために「アメリカにどうやって認めてもらうか。」という考え方を引き出し、「アメリカに教えてもらった国になることを約束する。」や「日本の国民が国をつくっていくことや戦争を2度としないことを約束する。」など、予想をさせて、学習活動 3につなげます。

1時目の予想を掲示しておき、児童に振り返らせ、活用することも考えられます。

○再び世界の中へ

〈1951 年〉

サンフランシスコ 平和条約

- ・日本はアメリカの占領から独立
- ・沖縄は占領されたまま
- ・アメリカに行って約束した など

〈1956 年〉

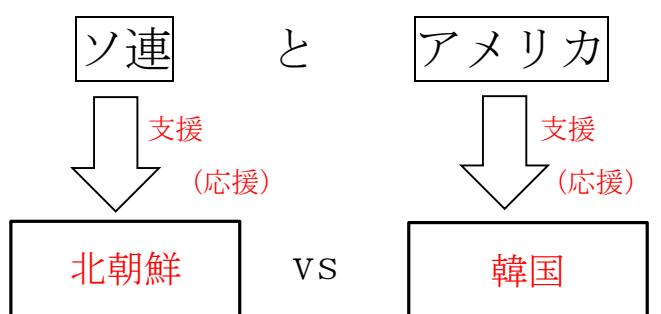
国際連合 への加盟

学習活動 3【評価】資料活用の技能

サンフランシスコ平和条約調印の写真を手掛かりにさせ、教科書や資料集を使って、左の___に当てはまる言葉を調べさせ、記述させます。その際、児童がその内容を理解したり、意味について考えるようにしたりできるように、「どんな約束をしたのか。」や「これで、日本は外国にどのくらい認められたのかな。」などを問い掛け、分かったことや考えたことをメモするようにさせます。教師が内容や意味を説明しないように意識しましょう。

さらに、学習活動 4に児童の意識をつなげるために、「日本は、これで世界各国が認めてくれる国になったのかな。」「アメリカと約束しただけでいいのかな。」などと問い掛け、「他の国とは、どうしたのか」や「他の国はどうしていたのか」などの世界の情勢に目を向けさせます。

○この頃の世界の様子



〈1950 年〉朝鮮半島で 朝鮮戦争 がお

学習活動 4【評価】資料活用の技能

教科書や資料集を使って、右の□や___に当てはまる言葉を探させます。これを板書して整理することで、新たな対立や戦争が起こったことを説明させます。

さらに、調べたことから「朝鮮戦争に日本は協力したと思うか。」を問い掛け、「アメリカに認められるために協力した」と「戦争を2度としない約束したから協力しなかった」の考えを引き出します。また、「外国に認めてもらおうとしたことが明治時代にもあったね。どんな政策だったかな。」と問い掛け、「また、富国強兵を目指す」と問い返したりして、「違う方法で認められる必要がある。どうしたのかな」とつなげていくことも考えられます。

その後、「実は、兵隊は出していないが、物資を売って協力した」という事実を伝えたり、調べさせたりして、「これで、日本は世界に認められたと思うか。」「どうやって世界に認められたと思うか。」と問い掛け、次時に児童の意識をつなげます。

学習活動 5【評価】知識・理解

調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、学習問題 I に対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして別紙のワークシート「新しい日本、平和な日本(全)」に記述させます。キーワードとして、「政治」「国際関係」「認めてもらう」などを使わせたり、板書に整理した「人々の思い」をまとめて自分の言葉に直させたりして書かせる指導が考えられます。

新しい日本、平和な日本へ④

名前()

学習活動 1

学習問題Ⅰと「調べる」活動の視点を確認した上で今日の学習のめあてを確認します。

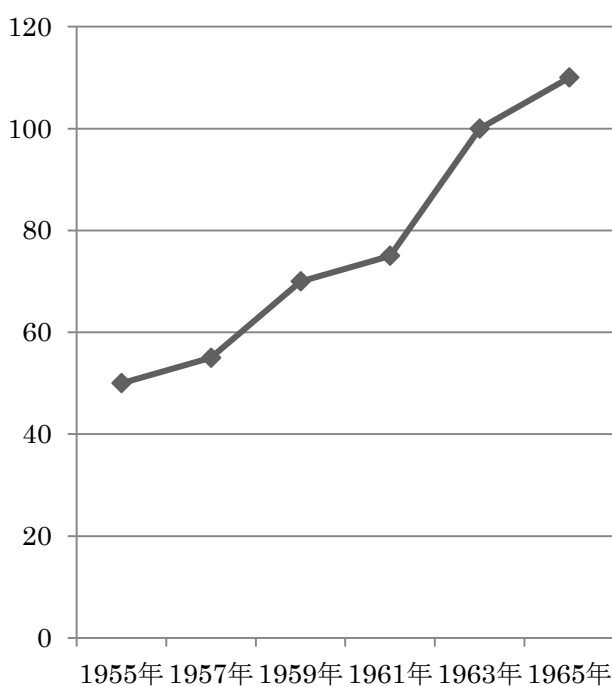
⑦ 日本の戦後改革を「国民生活」の視点から調べよう。

学習活動 2

東京オリンピック開会式の写真を手掛かりにさせ、前時の「どのようにして世界に認めてもらおうとしたのだろう。」という疑問の答えを調べさせます。児童からは、単にオリンピックを開くと返ってくるのが予想できます。そこで、さらに、「どうしてオリンピックを開けば、他国に認められるの。」と問い返すことで、「どこの国の人も仲良くするのを見せる」や「日本は復興したことを見せる」など予想を引き出します。

そこで、復興したことが分かる例として、右のグラフの読み取りをさせ、考えさせます。これにより、GDP（国内総生産：日本で日本が働いて稼いだもうけの合計）が増えていったことから、「誰ががんばったと思う。」や「どうやって上がったと思う。」と問い掛け、「国民の努力ではないか」という予想から、「国民生活は、どうなったのかな」と今日の学習のめあてと関連させ、**学習活動 3**に児童の意識をつなげていきます。

日本のGDP（兆円）



〈1964年〉 東京オリンピック 開催

◎このころの国民生活の様子

学習活動 3【評価】資料活用 of 技能

教科書や資料集を使って、日本の産業の発展や国民生活の進展について調べさせます。児童は、写真やグラフ、解説文などから用語を抜き出してくることが考えられます。そこで、これらの資料から分かることを関連付けさせるために、それぞれが「国民生活にとってどんなよいことになったのか。」を考えさせ、以下の板書例を参考に整理していきます。

《板書例》

日本の目標

- ・東京オリンピックを成功させる。→ 外国に日本は復興したことを知らせる。→ 外国に日本を認めてもらう。
- ・国民の所得（もらうお金）を倍にする。→ 国民の生活を豊かにする。→ 国民が日本は復興したと思う。

つくられたもの

- ・新幹線
- ・地下鉄
- ・高速道路
- ・ホテルや高層ビル
- ・下水道

↓
日本の技術力の向上
日本の都市の発展

日本人が世界に自慢できる
ものつくる、売る
↓（高度経済成長）↑
日本人の所得が増える、買う

国民が手に入れられるようになったもの

- ・テレビ
- ・電気洗濯機
- ・電気冷蔵庫
- ・インスタントラーメン
- ・カップ麺

↓
日本人がつくったもの
国民の生活が豊かになった

- ・カラーテレビ
- ・自動車
- ・クーラー（エアコン）
- ・ゲーム機
- など

} 3 C

学習活動 4【評価】知識・理解

調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、**学習問題Ⅰ**に対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして別紙のワークシート「**新しい日本、平和な日本(全)**」に記述させます。キーワードとして、「政治」「国際関係」「国民生活」「認めてもらう」などをさせたり、板書に整理した「経済の成長」をまとめさせて自分の言葉に直させたりして書かせる指導が考えられます。

新しい日本、平和な日本へ⑤⑥

名前()

学習活動 1

学習問題Ⅰと「調べる」活動の視点を確認した上で今日の学習のめあてを確認します。

⑤ 学習問題Ⅰについて、調べたことをまとめよう。

国民生活

政治

国際関係

学習活動 2

学習問題Ⅰについて、調べて分かったことや考えたことをまとめるために、2時目から4時目までのワークシートを振り返り、「調べる」活動の視点に分けて、まとめに使う言葉を整理します。その際、調べて分かったことの羅列にならないように、改革の目的や改革の結果などの言葉に着目させます。

《予想される視点ごとのまとめ》

- 国民生活…国民の努力によって、自動車や電気冷蔵庫、テレビなど国民生活が便利になるものを自分たちでつくることができた。そのため、日本の経済が成長し、国民の所得は増え、豊かな生活を送ることが出来るようになった。
- 政治……戦争の反省を生かして、天皇中心から国民中心の政治に変え、戦争をしない国を目指した。また、国民の自由と権利が守られるように改革した。
- 国際関係…アメリカから支援してもらいながら、世界の国々に認められる国づくりをしたので、国際連合に加盟できたり、戦後20年でオリンピックを開くことができた。また、そのために国民が努力したことで、世界に認められる技術や都市の発展をみせることができた。

でも…

学習活動 3

児童が、学習問題Ⅰについて、調べて分かったことや考えたことをまとめることができたことを称賛し、「国民みんなが努力し、頑張ったことで国民が戦争のつらさから立ち直ってきた。また、町も復興でき、みんなで喜ぶことができた」などのまとめを確認した上で、「調べる中で、気になる写真を見つけた。」と言いながら公害の写真を数点見せます。その後、「先生は、何が気になったと思う」と問い掛けることで、写真に写る人物に目を向けさせ、「経済成長の陰で、困ったり、悲しんだりした人がいた」ことに気付かせます。

環境問題などの公害は、児童は予想しやすいため、写真を手掛かりにさせ、教科書や資料集を使って、公害について調べさせます。

《児童が調べると予想される公害》

- ・四大公害病（水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく）
- ・水質汚濁
- ・大気汚染

など

「これらの公害が、どうしておこったのか。」を問い掛けることで、公害の原因を調べさせ、原因は工場や家庭の排水や排煙だったことに気付かせます。

学習活動 4【評価】知識・理解

調べて分かったことを総合的にまとめて表現させるため、学習問題Ⅰに対する答えを短文で考えさせ、本時の振り返りとして別紙のワークシート「新しい日本、平和な日本(全)」の⑤に記述させます。

5時目の最後に、発表させます。児童は、これまでに学んだことを過去のことだと考えていることが予想されます。そこで、現在は課題がないかを問い掛け、「あるのではないかな。」という児童の反応から、6時目に児童の意識をつなげます。

学習活動 5（6時目の学習活動 1）

前時の学習を振り返り、現在の日本が直面する課題について書かれている新聞記事を1つ提示します。考えられる記事は以下の課題を参考にして下さい。児童がテレビや新聞の報道から調べてくることも考えられます。

《日本が直面する課題例》

- ・少子高齢化が改善できるか・アメリカ軍基地をどうするか・まだ、差別されている人がいる・領土を巡って、解決できていない島がある・日本の食糧自給率は40%でも大丈夫か・原子力発電で出た廃棄物をどうするか など

「これで、国民が努力する必要がなくなった社会になったのだろうか」と学級全体に問い掛け、学習問題Ⅱにつなげます。

《学習問題Ⅱの例》これからの日本は、どのような国を目指していけばよいだろうか。

2020年の東京オリンピックを成功するために、国民としてどんな努力をするべきだろうか。など

本時の振り返りとして別紙のワークシート「新しい日本、平和な日本(全)」の⑥に自分の考えを記述させます。

新しい日本、平和な日本へ⑦

名前()

学習活動 1

前時の**学習活動 5**を確認した上で今日の学習のめあてを確認します。

⑦ これからの日本は、どのような国を目指していけばよいか考えよう。

○今一番優先させるべきと思うこと

学習活動 2

前時に取り上げた、日本が直面する課題の中で、一番優先させるべきと考える課題を選ばせ、その理由を記述させます。家庭学習で調べたことを根拠に書くように促します。

○理由

学習活動 3

学級全員の意見を把握するために、選んだ課題ごとに挙手させます。その際、根拠となる資料があるかどうかを確認させます。資料が足りないことが考えられますので、教師が新聞記事を集めて用意しておくといよいと思います。また、優先する考え方を教えるために、以下の視点を示して考えさせることも考えられます。

《意識させたい視点》

- ・どのくらいの人に影響が及ぶのか
- ・解決できる政策やアイデアがあるのか など

自分の考えを補強するために、同じ課題を選んだ児童でグループを作らせ、根拠を示し合わせます。その際、なるほどと思った友達の根拠を取り入れてもよいことを伝えます。

その後、学級全体で、違う課題を選んだ児童と意見交流をさせます。取り扱う課題が広範囲になるため、討論ではなく、根拠を適切に示すことができているか、視点を意識した表現ができているかについて、指導を行います。

学習活動 4 【評価】知識・理解

本時の振り返りとして別紙のワークシート「**新しい日本、平和な日本(全)**」の⑦に記述させます。

学習のまとめとして、学級で1つの課題に絞るのではなく、どれもが解決に向けて考えていくべきことであることを確認し、公民的分野の学習に意識をつなげていたり、これまでの歴史を学ぶ意味について振り返らせたり、これからの生活の中で考え続けて欲しいことを伝えたりして、歴史の学習を通したまとめを行い、単元を終わめます。